

好評だったエコパスポート

3カ月にわたる環境にやさしい観光交通運行が終了



サポートバスガイドも大活躍

エコパスポートは個人観光客の皆さんを中心に非常に好評で、1日22枚ペース、トータルで1千907枚ご購入されました。購入された方は「とても便利で、お得なチケットだった」といった声が寄せられました。

JR摩周駅に開設されたエコバスステーション(上) JR摩周駅前を出発する摩周湖バス(下)

弟子屈町地域公共交通活性化協議会(会長・徳永町長)が行う「弟子屈エコバスポート」事業が終了しました。事業は、8月1日～10月26日の87日間にわたって行われました。エコバスポートは、町内バスが2～7日間乗り放題というもの。車を離れ公共交通機関を利用した環境に優しい旅と、チケットの有効期間乗り放題にする事で滞在型の観光を提案することが目的で、購入者にはさまざまな特典も用意されました。また、通常の料金より格安でバスが利用できる、地元観光の再発見や小旅行を提案する「町民限定バスポート」も販売され、好評を得ました。



JR摩周駅に開設されたエコバスステーション(上) JR摩周駅前を出発する摩周湖バス(下)



水郷公園駐車場のライン引きを行う多田塗装工業の皆さん

10月22日には、(株)多田塗装工業(多田征人代表取締役)の皆さんが、水郷公園駐車場のライン引きと、遊水地のベンチのペンキ塗りを行いました。利用者の方がより安全に利用できるようにと、社会貢献活動として行ったもの。消えかかっていたラインが新しく引き直され、安全に利用できるようになりました。

地域の役に立ちたい

2社による社会貢献活動



湯の島公園で芝張りを行う摩周植物園の皆さん

(有)摩周植物園(古瀬廣幾代表取締役)の皆さんが、10月9日に湯の島公園の芝張り、11月7日に同公園の樹木せん定と水郷公園の危険木の伐採を行いました。両公園の景観保持と、利用者の安全確保のために、社会貢献活動の一環として行ったもの。より安全に快適に、両公園を利用できるようにしました。

町の話題



町の話題



華麗な調理テクニックを披露する貫田さん

貫田さんから防災グルメ学ぶ

和琴小学校で土曜授業推進事業



ユーモアたっぷりの楽しい授業

和琴小学校(森敏隆校長)で11月1日、防災グルメを学ぶ土曜授業が行われました。同校は今年度、文部科学省の研究指定を受け、年10回の土曜授業推進事業を行っています。今回は、北海道教育委員会が行う「子どもの心に響く道徳教育推進事業(道徳教育特別非常勤講師派遣事業)」の採択を受け、フードディレクターで北海道食育コーディネーターの貫田桂一さん(札幌市在住)を講師に迎え、防災グルメに関する授業と調理実習を行いました。貫田さんは「防災グルメとは、非常時に地元にある食材だけで子どもたちでも簡単に作ることができ、地域の人たちが仲良くなるメニューのこと」と説明。「食」という字は、人を良くすると書くなど、さまざまな漢字の成り立ちも交えながら、体に良い食材選びや食事のマナー、作ってくれた人への感謝を忘れずになどの食育授業を展開しました。その後、摩周小麦と摩周ポーク、弟子屈産の野菜を使った「屈斜路パンケーキ」、地元産牛乳と野菜を使ったスープ、地元産カボチャの蒸し煮作りに挑戦。貫田さんの調理テクニックに歓声を上げながら、保護者も交えて楽しく調理を行い、みんなでおいしくいただきました。

町の話題



町の話題

日ごろの活動の成果を披露

第65回弟子屈町総合文化祭



多彩な作品が並んだ展示会

10月26日には、摩周観光文化センターで芸能発表会が行われました。23団体が参加し、吹奏楽や舞踊、合唱などをそれぞれ披露。訪れた皆さんから、盛んな拍手が送られていました。



芸能発表会(上)と町民茶会の様子(下)

訪れた皆さんにお茶がふるまわれました。10月18日～11月2日には、町公民館で展示会を開催。27の団体や個人などが、絵画や陶芸、短歌など、日頃の文化活動の成果を発表し、訪れた方々の目を楽しませました。10月26日には、摩周観光文化センターで芸能発表会が行われました。23団体が参加し、吹奏楽や舞踊、合唱などをそれぞれ披露。訪れた皆さんから、盛んな拍手が送られていました。10月18日には町民茶会が町公民館で行われ、第65回弟子屈町総合文化祭が、10月18日から11月2日にかけて、町公民館と摩周観光文化センターで開催されました。

10月1日～11月30日

阿寒国立公園指定80周年を記念して 摩周・屈斜路パークボランティア連絡会が企画展

趣向を凝らした展示を見る



阿寒国立公園川湯地域で活動する摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の会員による企画展が、10月1日から11月30日まで川湯エコミュージアムセンター2階ギャラリーで行われました。

阿寒国立公園指定80周年を記念して、初めて開催したものです。風景や鳥の写真、絵画のほか、アイヌ文様をモチーフにした壁掛けや北海道の動物を描いた手作りのあんどんなど、13人が45点の作品を披露しました。固有植物やオオハクチョウの生態を学術的に解説した展示などもあり、訪れた方たちは、さまざまな手法で表現された阿寒国立公園の魅力に見入っていました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

10月22日

長年にわたり地方自治の発展に貢献 故 和田淳さんが旭日単光章を受章

勲記を受け取る邦子さん



8月に任期半ばで逝去された、元・町議会議員の故 和田淳さん(川湯温泉5)に、特別叙勲・旭日単光章が授与されました。

伝達式は10月22日に行われ、和田さんの妻・邦子さんに、徳永町長から勲記と勲章が手渡されました。

和田さんは、1999(平成11)年に町議会議員に初当選。町議会副議長などの要職を担うなど、15年の長きにわたり、地方自治の発展と地域の活性化に貢献したとして、この度の受章となったものです。

10月5・25日

スポーツを通して防火意識を高めよう 防火ソフトバレーボール・火の用心パークゴルフ

火の用心パークゴルフ大会の様子



全道秋の火災予防運動期間(10月15日～31日)の行事の一環として、防火スポーツ大会が開催されました。

10月5日に開催された第4回防火ソフトバレーボール大会には、6チーム30人が参加。競技開始前の救命講習で、AEDの取り扱いについて説明を受けました。26日に開催された第11回火の用心パークゴルフ大会には、男女合わせて73人が参加し、爽快な汗を流しました。両大会の開会式で、大会長の筒井庄一(弟子屈防火管理協議会会長)は「空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期。火の取り扱いには十分注意してほしい」と防火意識の高揚を呼びかけました。

10月26日

登山シーズンの終わりを迎え パークボランティアが藻琴山登山道のロープを撤去

ロープを撤去する委員の皆さん



川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが10月26日、藻琴山登山道のロープ撤去作業を行いました。

危険な場所の周知や植物の保護を目的として、ロープは毎年6月の山開きに合わせて張られ、本格的な降雪期を控えたこの時期に外されます。この日は風が強かったものの天候に恵まれた中、手際よく作業が進められ、2時間ほどで終了。パークボランティアの皆さんは「植生保護や安全のためにもロープ張りは効果的。今後も続けていきたい」と話していました。

10月25日

もっと大きな森になると願いを込めて シーニックバイウェイが飛行場跡地で植樹

手分けして丁寧に植樹を行う皆さん



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(桐木茂雄代表)の皆さんが10月25日、そららの森で植樹活動を行いました。

そららの森とは、同会が森として整備を進めている釧路の弟子屈飛行場跡地の愛称で、毎年植樹を行っています。今年は会員など約60人が参加。数年前に町内で拾ったドングリやクルミの実が若木まで育ったことから、今年度はそのうちの約300本を成長に合わせて、より広い敷地へと移植しました。

みんなで頑張りました

おひさま保育園親と子の集い
摩周丘幼稚園お遊戯会



大きなステージで元気いっぱい(摩周丘幼稚園お遊戯会)

園児は、2～5歳児のクラスごとに歌や楽器演奏、踊り、劇などを披露。この日のために一生懸命練習してきた成果を、元気いっぱいに舞台の上で発表していました。カメラやビデオなどを手にして集まった保護者などからは、たくさんの拍手が送られました。

11月9日には、摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)のお遊戯会が摩周観光文化センターで行われました。

それぞれ、各クラスのテーマに沿ったお遊戯や劇などを披露。保護者にとっては、園生活が垣間見られる貴重な場となりました。また、保護者や保育士も趣向を凝らした出し物を行い、お父さんやお母さん、先生たちの活躍に園児は大喜びでした。



練習の成果を披露(おひさま保育園 親と子の集い)

おひさま保育園(清水節子園長)の親と子の集いが11月1日、同園で行われました。園児がそ

町の話



町の話

大学の講義に触れる

釧路公立大学による公開講座



ロシアの食文化と統計について学んだ公開講座

生方准教授は「統計手法の活用―記述統計と推測統計―」と題し、データを集めて解析し、新しい知識や事実を知ることの大切さについて講義。参加者の皆さんは、興味深く耳を傾けていました。



弟子屈高校で行われた講座の様子

釧路公立大学の公開講座が11月14・21の両日、町内で行われました。14日は弟子屈高校の生徒を対象にしたもので、同校で開催。約50人が受講しました。講師は同大学の河村一教授で、「国際比較のすすめ」と「観光と経済について」と題して講演。経済学とはどういった学問なのか、弟子屈を念頭に置いて観光と経済の関係などについて講義を行いました。観光産業の神髄は「おもてなし」にあるなどの話に、生徒は熱心に聴き入っていました。21日は一般の方を対象に町公民館で開催。約20人が受講しました。講師は同大学の宮崎武俊教授と生方雅人准教授。宮崎教授は「クイズと試食で学ぶロシアの家庭料理」と題して講義。ペチカ(ロシア風暖炉)やサモワール(木炭式湯沸かし器)の模型などを使いながら、ロシアの食文化について講演しました。

11月5日

地域福祉と自治会の役割について学ぶ 自治会連合会研修会を開催



講師の話に聴き入る参加者の皆さん

平成26年度弟子屈町自治会連合会(寺岡清敏会長)研修会が11月5日、町社会老人福祉センターで開催されました。

今回の講師は、地域社会学・農村社会学を専門とする旭川大学准教授の大野剛志氏。「これからの地域福祉と自治会の役割について」と題し、地域の支え合いを構築することで、地域の活性化と再生を図る「コミュニティ福祉」について持論を展開しました。また、弟子屈町社会福祉協議会の山口洋司事務局長が、同協議会の事業や組織について説明。参加した皆さんは熱心に聴き入っていました。

11月4日

弟子屈フォトコンテスト入賞作品などを使って作製 オリジナルフレーム切手を町と観光協会に贈呈



『阿寒国立公園指定80周年記念』オリジナルフレーム切手を手に

阿寒国立公園指定80周年を記念したオリジナルフレーム切手が11月4日に発売され、同日、贈呈式が役場で行われました。

贈呈式では、藤原将男弟子屈郵便局長から徳永町長に、酒井盛興川湯郵便局長から木暮敏男摩周湖観光協会長に、それぞれ切手シートが手渡されました。

切手の図柄には、弟子屈フォトコンテスト、阿寒湖フォトコンテストの歴代入賞作品を採用。摩周湖や屈斜路湖など、同公園内の雄大な自然をPRするものになっています。

10月28日

火の用心を呼びかけ 弟子屈防火管理協議会が防火看板を更新



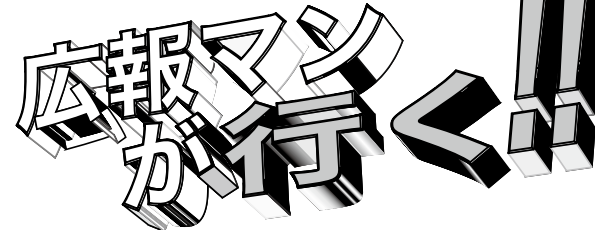
火の用心を呼びかける看板

町内の事業所などで構成する弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長)では10月28日、仁多交差点に設置している防火看板

の更新を行いました。

同協議会は弟子屈消防署などと連携して、火災予防の街頭啓発をはじめ、住宅用火災警報器の普及に向けた設置助成事業などの活動を行っています。今回更新された看板には、町のシンボルマークや摩周湖農業協同組合のマスコットキャラクターが描かれ「火の用心をお願いします!」と呼びかける親しみのある防火看板となっています。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

11月11日

陶芸を通して思い出づくり 弟中と川中の3年生が摩周焼を体験



思い思いの作品作りに挑戦

弟子屈中学校(坂東薫校長)と川湯中学校(武山昇校長)の3年生65人が11月11日、摩周焼体験学習を行いました。

総合的な学習の一環として毎年行われているもの。郷土を代表する工芸の一つである摩周焼の制作を通して、思い出づくり、郷土を愛する心を育てることが目的です。摩周焼窯元の森雅子さん(奥春別)を講師に招き、森さんとそのお弟子さんたちの協力の下、多目的カップ作りに挑戦しました。作品は、12月中旬から公民館で展示される予定です。

11月7・12日

夜間の外出時に利用してください 湯の川団地の高齢者に夜光反射材を配布



夜光反射材の使用方法を説明

弟子屈警察署川湯駐在所(阿部哲男所長)では11月7・12の両日、川湯温泉地区の高齢者の方に夜光反射材を配りました。

川湯福祉の湯利用のため、夜間に外出する高齢者が多い同地区。地域のドライバーから、歩行中の高齢者に気づきにくいとの声が同駐在所に寄せられたことを受けて実施したものです。川湯交通安全指導員会と川湯温泉まち自治会の協力の下、7日には湯の川団地に住む高齢者宅を訪問して啓発。12日には福祉の湯を訪れた高齢者の方に夜光反射材を手渡し、交通安全を呼びかけました。

11月1日～

道の駅摩周温泉でさまざまな企画展 風景写真とアートフラワー



道の高橋さん(上)精巧なアートフラワー(下)

道の駅摩周温泉1階の展示ギャラリーで、11月1日から高橋米子さんの写真展「道東心の夢路」が始まりました。四季折々の道東の自然を切り取った作品が展示されています。

1階町民ギャラリーでは、マーガレット同好会によるアートフラワー(布製の花)展示、2階では隅田恒示さんの写真展「Sketch てしかが」も行われています。いずれも来年1月5日まで開催されていますので、一度ご覧になってみませんか。

10月29日

おじいちゃん・おばあちゃん元気になってね おひさま保育園児が厚生病院を慰問



園児の踊りに目を細める患者さん

おひさま保育園(清水節子園長)の年長・年中児が10月29日、摩周厚生病院を慰問しました。

入院患者さんに喜んでほしいと、この時期に毎年行っています。入院中のお年寄りなどを前に「よっちょれ」と「弟子屈音頭」を元気いっぱい披露した園児たちに、たくさんの拍手が送られました。患者さんは「とてもかわいかった」と、うれしそうに話していました。

11月12日

2年ぶりの開催 屈斜路コタンでアイヌの先祖供養「イチャルパ」



供物を供えて祈りを捧げる

アイヌ民族の伝統的な先祖供養の儀式「イチャルパ」が11月12日、屈斜路コタンで開催されました。同地区でのイチャルパの開催は2年ぶりです。

民族衣装で正装した列席者の皆さんは、お神酒や供物を供えて先祖への感謝と祈りを捧げたほか、民族舞踊を奉納。祭司を務めた豊岡征則さんは「若い人が少なくなっていく中、さまざまな協力の下、イチャルパが開催できることは誠に意義深い」と話していました。

11月12日

ふるさとの素晴らしさにあらためて気づいて ロータリークラブが幼稚園児と紙芝居作り



みんなで色塗り楽しいね

弟子屈ロータリークラブ(木暮敏男会長)の「てしかが現代民話&紙芝居創作プロジェクト」が11月12日、福祉センターで行われ、同会員と摩周丘幼稚園(鈴木幸栄園長)の年長児が、紙芝居の絵に色を付ける作業を行いました。

同クラブの地域社会奉仕事業の一環。弟子屈をテーマにした紙芝居作りを通して、子どもたちにふるさとの良さを再発見してもらうことがねらいです。てしかがえこまち推進協議会アート&アド部会、弟子屈町社会福祉協議会の協力の下、自然素材から作った絵の具やクレヨンで色付けを行いました。完成作品は、来年2月に上演される予定です。

11月1日

火遊びは絶対にしないでね 消防団女性部が火の用心を呼びかける紙芝居



紙芝居を披露する消防団女性部

弟子屈消防団女性部が、オリジナル防火紙芝居「くまくんのたんじょうび」を作製しました。防火思想を子どもたちにも分かりやすく伝えていこうと企画したもの。今年の6月から物語の内容やデザインなどを検討し、10月に完成しました。

紙芝居の初お披露目は、11月1日におひさま保育園で行われた「親子の集い」。女性部の部員3人が同園を訪れて紙芝居を上演し「火遊びは絶対にだめ」と呼びかけました。同消防団では今後、他の保育園・幼稚園の訪問や、イベントなどでの活用を行っていききたいとのこと。

11月1日

英語と自然を楽しく学ぶ 小・中学生向け体験活動「もりのパレット探検隊」



英語に触れながら森を散策

町内の小・中学生を対象にした、川湯エコミュージアムセンター主催の自然体験活動「もりのパレット探検隊」の第1回が、11月1日に行われました。

今年度は「英語や異文化にふれあう」「日本と世界の自然の違いを知る」がテーマ。この日は小学1年～中学1年の15人が参加しました。子どもたちは、ボランティアで同行した町の外国語指導手のウィリアム先生と一緒にアカエゾマツの森の中を散策。英語で話しかけたり、葉やマツボックリを英語で何というか調べたりしました。外国の自然についても教えてもらい「日本と全然違って面白い」といった声が聞かれました。